

THE THE

ブランド解説・2024年度活動概要

- コンセプト
- 2024年度活動月表
- 衣装解説
- デザイナープロフィール

CONCEPT

かたちのないもの



THETHE

CONCEPT

「かたちのないもの」という服作りは、

現代社会に対する強い憤りから生まれました。

私たちは考えていることを、ホモサピエンスが開発した

言葉や文字という魔法で知覚し、心の輪郭を掴むことができます。

しかし、私たちは魔法使いではありません。

近年、社会は物事を善悪 / 白黒と極端に決めるよう変化しています。

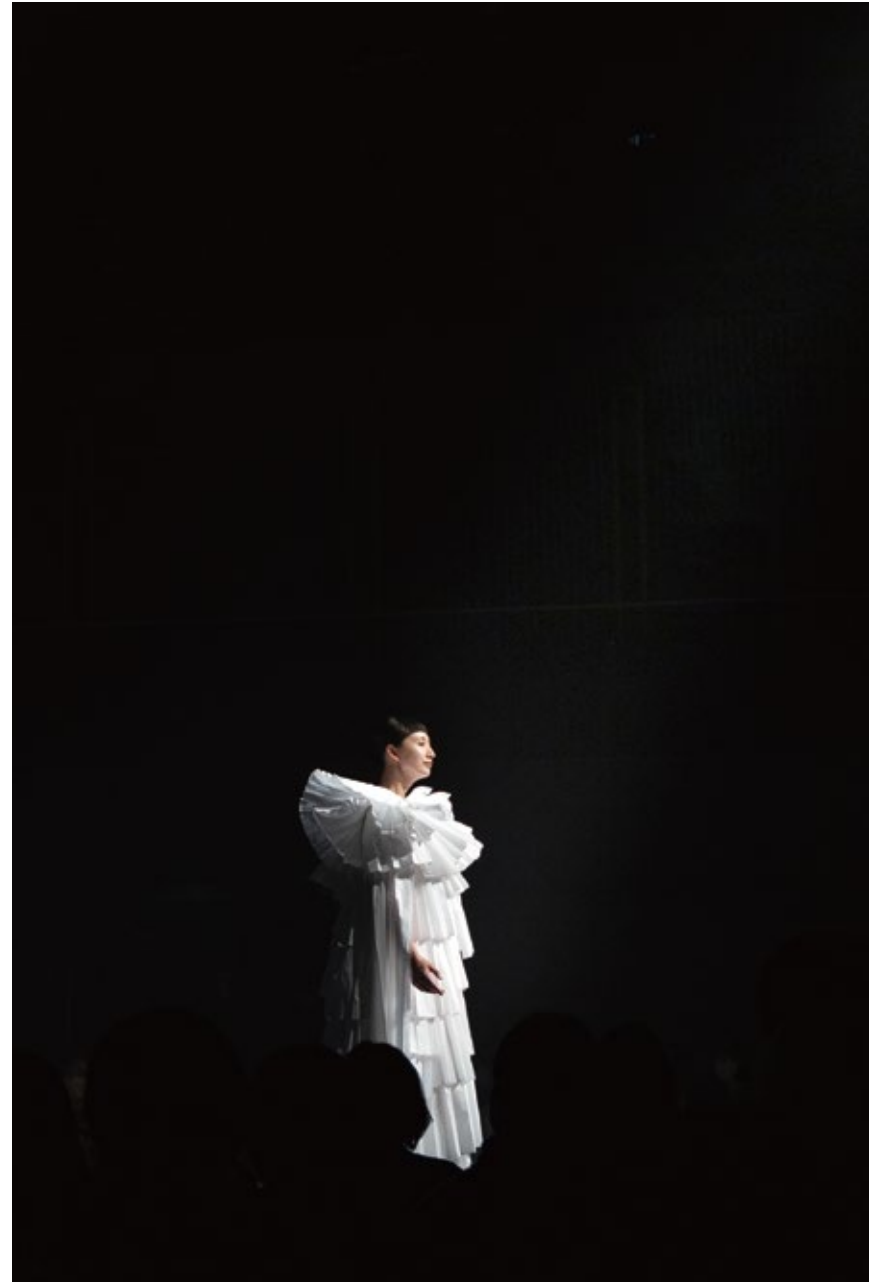
私たちは三次元世界を生きています。

奥行きを読まず、あらゆる「かたち」に拘ろうとする世界に、

人間の野生化という焦燥感を抱いています。

「服を背負う」という着方と「かたちのないもの」を探究し、

現代社会に対する姿勢をデザインします。



THETHE 2024年度活動

- 2024年 3月 THETHE 24SS ファッションショー
- 2024年 4月 オフィシャルサイト開設
- 2024年 5月 オンラインストア開設
- 2024年 6月 クラウドファンディング開始
- 2024年 7月 大阪にてファッションショー (HITOMI COLLECTION)
- 2024年 8月 東京タワーメディアセンターにてファッションショー (TOKYO FASHION LINK)
- 2024年 9月 クラウドファンディング達成
- 2024年 10月 東京渋谷にて合同ポップアップ開催
- 2024年 11月 リース業開始
- 2024年 12月 東京・名古屋にてファッションショー (JAPAN FASHION TOUR)

3月 THETHE 24SS ファッションショー

THETHE 24SS “symmetry A symmetry” 発表。

「服がだんだんと壊れていく」をテーマに、総勢 40 ルックで表現

「服が生地という海へ帰っていく」という、

「かたちのないもの」を真っ直ぐに衣服へ落とし込んだ。

楽曲は「歓喜の歌」を選曲し、

ベートーヴェンの「言葉にしなければ伝わらない」想いと

デザイナー・田中縷々の「服にしなければ伝わらない」想いを

重ねて空間を包む、THETHE としては初めてのショー形式で発表した。



THETHE 24SS ショー映像 (<https://www.youtube.com/watch?v=dZR3oka3XuE>) ▶



4月 オフィシャルサイト開設

THETHE オフィシャルストア開設。

サイトのビジュアル撮影を、プロカメラマンを起用した。

ロケーションは千葉の100年以上歴史のある古民家

3月に発表したショーピースと、新作のリアルクローズ 2 型を使用した。

オフィシャルサイトではブランドイメージが強く反映されており、

THETHE がもつ哲学や活動報告、ショー映像やその他ビジュアルなどを

チェックすることができ、作成と運営は現在もデザイナー自らがやっている。

THETHE オフィシャルサイト (<https://www.rurutanaka.com/thethe>) ▶



5月 オンラインストア開設

THETHE オンラインストア開設。

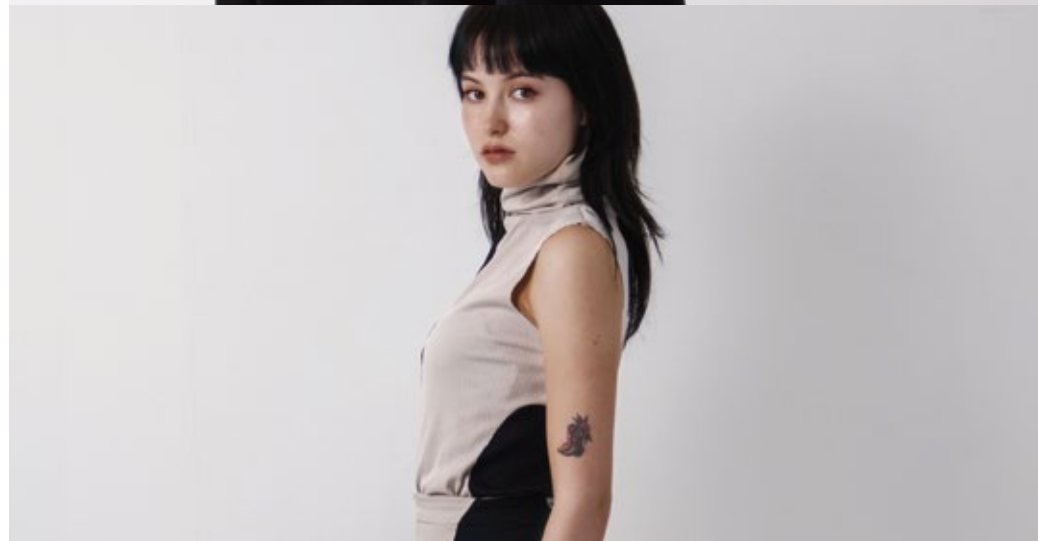
新作のリアルクローズや、アーカイブの衣装を受注生産体制でオーダー可能。

オンラインストアで掲載されている着用写真は、

モデルのキャスティングからスタイリング、ヘアメイク案、撮影を

デザイナー自ら行っている。

THETHE オンラインストア (<https://shop.thethe.jp/>) ▶



6月 クラウドファンディング開始

THETHE のクラウドファンディングを開始した。

楽天ファッションウィークへの参加を目的として行われ、

ブランドが大切にしている服作りへの思いや方向性などを

述べた動画や、リターンについての解説動画などをデザイナーが制作・監修した。



THETHE クラウドファンディングサイト (<https://motion-gallery.net/projects/THETHE>) ▶



7月 大阪にてファッションショー

プロモデル・久米瞳が主催する HITOMI COLLECTION に参加し、

THETHE は「Funeral of Design」と題したショーを行った。

デザインを神聖視する人や、社会に対するアンチテーゼとして5ルックの衣装に

過剰な装飾やドレープ表現などを施し、

衣装とともに埋葬するという考え方で制作した。

楽曲はベートーヴェンの交響曲第7番とロンドン橋を使用し、

24SS から続くブランドとしての破壊による成長を演出した。



8月 東京タワーにてファッションショー

東京タワーメディアセンターにて、TOKYO FASHION LINK が主催する
ファッションショーに参加した。

リアルクローズを中心に、デザイナー・田中縷々が幼少から
価値観の一つとなった絵本「かたあしだちょうのエルフ」をテーマに制作した。
楽曲は「きらきら星」と「It's a small world」を使用し、
エルフの物語を辿るように祈りを表現した。

TOKYO FASHION LINK 公式サイト (<https://tokyocouture1123.com/>)▶



9月 クラウドファンディング達成

プロジェクトを探す プロジェクトを始める

MOTION GALLERY
クラウドファンディングプラットフォーム

ファッションブランドTHETHEの本格始動
【Rakuten Fashion Week TOKYOへの挑戦】

東京都 ファッション

コレクター
63人

現在までに集まった金額
2,303,000円

残り日数
0日

FUNDED

このプロジェクトは、目標金額2,000,000円を達成し、2024年8月30日23:59に終了しました。

シェア ツイート サイトに埋め込み

2023年2月に発表したオリジナルブランド「THETHE」を本格始動致します。「かたちのないもの」という服作りを、世界に知って表現していきます

田中瞳々 プロフィールを表示

6月に開始したクラウドファンディングは8月末をもって終了し、
目標金額である200万円を達成し、230万3千円となった。

THETHE クラウドファンディングサイト (<https://motion-gallery.net/projects/THETHE>) ▶



10月 東京渋谷にて合同ポップアップ開催

ブランド初の合同ポップアップを企画し、合計で6ブランドが参加した。

THETHE が展開している衣装を実際に着用していただき、

生地への拘りやシルエット、ディテールに対するアプローチなど

お客様と直接コミュニケーションから

ブランドとユーザーの距離を縮めることが出来た。



11月 リース業開始

THETHE では個人・法人問わず衣装のリースを承っています。

小柳ゆきさんを始めとしたアーティスト、モデル、イベントなど

ファッション関係から各メディア媒体などのロケーションに対応。

オンラインストアに掲載のない、ウェブや SNS にて掲載のあるショーピースや

サンプルアイテムのリースを行っている。

THETHE リースサイト (<https://www.rurutanaka.com/> 衣装リースについて) ▶



12月 東京・名古屋にてファッションショー

JAPAN FASHION TOUR が主催するファッションショーに、

東京 2 日間・名古屋 2 日間参加した。

どちらもアーカイブコレクションと題し、東京ではショーピースを中心に構成し

名古屋ではリアルクローズを中心に構成した。

THETHE のショーとしては初めてヘッドピースを用いた。

東京ショーでは「リュートのための古風な舞曲とアリア」を背景に、

形骸的な社会に対する姿勢として。名古屋ショーでは「Teo Toriatte」

「Amazing Grace」を背景に、ラブ&ピースを表現した。









MUFF POCKET P COAT

クラシックなPコートフロントデザインと、

ツイッギーのミニスカートをベントで表現したルック。

当初、軍人は歩哨だけが手を温めることを許されていた。

しかし、軍人らしい姿勢を崩さないよう、ウエストよりも高い位置に

マフポケットが設定され、手を入れても背筋が伸びるようになっている。

私はこの「姿勢」が今の私たちには必要だと考え、採用した。



JELLY FISH

海にはクラゲが無数にいる。人のように。

透明で、90%の水分でクラゲは出来ている。

羊水の中で、胎児は90%の水分で出来ている。

命の故郷は海でしょうか。

魂の故郷は宇宙でしょうか。

21グラムの質量は何処からやってくるのだろう。



GUN FLOWER PANTS

アンダーバストまで伸びているスラックスのウエストは、
円形ではなく歪な花のような形で広がっている。

これは、銃口を詰ませたまま発砲した時に爆発する、
裂けた銃身の様子を表している。

GUN FLOWER PANTS と名付け、戦争への意思表示を示したパンツ。



UNTITLED

コンセプトのアイコンである「アシンメトリー」「プリーツ」を結集し、

日本が得意とするタフタ生地を一反全て使うことで、

その重さは子供一人分。

組成は天然繊維と合成繊維が入った混紡生地である。

かたちに残りやすい生地でかたちのないものを表現すること。

日本文化への敬愛。人という尊さ。

生きる上で何も奪わず生きることを人はできない斜陽の部分。

これらを、多様性や環境問題に傾倒している現代社会への姿勢として、

服を背負うという考え方をもとに表現。









RURU TANAKA

「かたちのないもの」を精神に服作りをしている。

THETHE は田中縷々の私的なブランドと言え、

パターンメイキングからショーに至るまで、物語や祈りを込めている。

「服を背負う」という着方・考え方はコンセプトからくる

輪郭のない哲学で、ひとつのパターンから成す立体表現や、

ダーツと展開の時に生まれる分量を逃さず身頃に閉じ込める

歪みの表現、アートや音楽、文字から受けるインスピレーションを

反映させたシルエット表現など様々で、服が人に伝える

エモーションを大切にしている。

